

【参考】

北九州市表彰「まちづくり功労」の過去の受賞者一覧

【まちづくり功労】

年	受賞者	功績内容（概要）
令和 7 年	若松再発見の会	洞海湾クルージングなどの観光ガイドボランティアの中で、若松区の魅力を広く発信するなどの活動を通じまちづくりに貢献したもの。
令和 6 年	特定非営利活動法人生涯学習指導者育成ネットワーク	平成 17 年度より、北九州市内の地域及び企業の中で生涯学習活動を行う者を対象に、指導者として必要となる高度かつ専門的な知識及び技術を習得するためのセミナーの実施を通じて、人材育成に取り組んでいる。これまで 200 名を超える受講生がおり、受講生の多くは市民センター館長や社会教育主事、社会教育主事補等として、生涯学習の分野はもちろん、地域づくり・人づくりの分野で活躍している。このように、当団体は本市の地域の人材育を通じて、地域づくり・人づくりにおいて、多大なる貢献を果たしていると考えられる。
	認知症・草の根ネットワーク	認知症の方を真ん中に、「多くの人が手をつないで、その人が、その人らしく暮らせるように手助けしよう」、「認知症の方が最後まで命を輝かせることができるようにしよう」という思いで市民が立ち上げた団体。認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの視点に立ち、認知症の理解の普及に関する事業およびそれに関連する事業を行い、社会全体の利益を増進することを目指し、活動しており、市政に貢献している。
	特定非営利活動法人老いを支える北九州家族の会	平成 6 年に北九州市内の特別養護老人ホーム「サングリーンホーム」の「デイサービス家族の会」として発足。平成 8 年に名称を「老いを支える北九州家族の会」に変更、誰でも入会できる自主的な組織となり、現在では北九州市内及び近郊に 500 人を超える会員をもつ団体に発展。認知症の方や、障害を持った方が地域で安心して暮らせる町をつくることを目指し、保健・福祉・医療の関係者とのネットワークを築くための努力を続けている。また、当事者の声を伝える立場として、様々な委員会等の委員に就任している。平成 27 年 11 月 18 日付で NPO 法人の認定を受けた。平成 30 年 5 月第 3 回通常総会において、初代理事長高田芳信氏が退任され顧問となる。現在門司支部、八幡西支部、小倉支部、戸畑支部、遠賀中間支部の支部活動もある。

令和 6 年	武蔵・小次郎まつり協賛会	地域住民が中心となり、伝統ある「武蔵・小次郎まつり」を 70 回にわたり、継続して開催している。北九州市にゆかりのある剣豪「宮本武蔵」と「佐々木小次郎」の決闘や、宮本武蔵が編み出した兵法「二天一流」など、この祭りを通して、偉人の歴史や精神を子ども達に語り継いでいる。祭りが中心となって、住民の地域に対する親しみの気持ちを高めるとともに、地域全体の活性化や賑わいづくりに大きく貢献していると言える。また、会場である手向山公園の美しい自然と景観や、史跡保全の重要性を次世代に伝える大切な役割も担っている。
	小石・赤崎元気ハツラツ健康サロン	平成 18 年 4 月より 3 年間、市の高齢者健康づくり事業に協賛。その後、「小石・赤崎元気ハツラツ健康サロン」として、14 年間にわたり自主活動を継続し、地域における支えあいの場所、健康づくりの場所としての機能を維持している。平成 21 年度から小石・赤崎元気ハツラツ健康サロンは、参加者の気持ちを汲みながら、地域住民が気軽に集まれる、居心地のよいサロンづくりを目指し、会の運営を行っている。また、行政や地域団体が実施する健康づくり事業と協働して会員の健康づくり活動の向上や自主的な助け合いができる組織の育成に尽力している。
	福岡県電気工事業工業組合 青年部協議会 八幡支部	平成 21 年度から毎年ボランティアで、北九州市の観光のシンボルである皿倉山の 9 合目にイルミネーションを設置していただいている。毎年 11 月～2 月にかけて実施し、まち全体にやすらぎを与え、皿倉山の PR、まちの「にぎわいづくり」の一つとして定着し、時季の風物詩になっている。令和 4 年度は、市制 60 周年を記念したイルミネーションを実施し、市民の一体感やシビックプライドの醸成に貢献した。
	ラブリバー撥川ネットワーク	撥川の環境美化、小中学生への環境教育、撥川ホテル祭りの開催など、活動が多岐にわたっており、その活動一つ一つだけをとりとめて、市民活動団体の模範となるものである。
	笹尾川水辺の楽校運営協議会	平成 15 年から、遠賀川支流笹尾川の芝谷橋周辺河川敷を拠点に継続して活動し、子ども向けの自然体験や環境美化活動に尽力した。また、会を中心に多くの地域団体と協働して取り組むことで地域の結びつきを深め、八幡西区のまちづくりに貢献した。
令和 5 年	門司港バナナの叩き売り連合会	毎週、門司港レトロで叩き売りを行っており、観光客にも大変好評で人気ある活動となっている。団体ごとに特色ある叩き売りを披露する事でお互いに日々研鑽を重ねている。マスコミからの注目度も高く、叩き売りの依頼も多く寄せられており、この依頼に積極的に対応する事で門司港発祥のバナナの叩き売りの PR に大きく貢献している。

令和 5 年	We Love 小倉協議会	商店街が中心となって設立し、高校生や大学生・市民団体等と連携しながら、長期にわたり様々な小倉のにぎわいを創出してきた。また、「小倉城竹あかり」の実行委員会には、協議会のメンバーが参画している。当該事業には本市も賛同し、人的財政的な支援を行っている。市内外から多くの人が訪れ、市全体のにぎわい創出に大きく貢献している。
	こくら de フリマ実行委員会	平成 18 年から現在の SDGs の流れに先立ち、環境保護や持続可能な社会の発展と小倉の賑わいづくりを目指し、区役所等と実行委員会を組織して長い間フリーマーケットを開催してきた。これにより、本市が目指す SDGs 社会の実現に貢献するとともに、本市都心部の定常的なにぎわい創出にも大きく貢献した。
	北九州・平尾台トレイルランニングレース実行委員会	同実行委員会は、地域が大切にしている平尾台の自然環境を生かしながら、自然環境に配慮した持続可能なスポーツイベントである「北九州・平尾台トレイルランニングレース」を 2010 年から開催し、地域の活性化及び本市のイメージアップに大きく貢献してきた。
	筑前若松五平太ばやし振興保存会	演舞団体の加盟促進、子供達対象の課外活動や部活動としての活動支援をすることで、伝統の保存、継承、振興を通じてシビックプライドの醸成に多大なる貢献があるばかりでなく、その生い立ち的にも若松東部に偏りがちだった活動を、最近では新興住宅地が拡がりつつある若松西部にも拡大していく活動にも積極的に取り組んでいる。
	KEYAKI TERRACE YAHATA	JR 八幡駅前のイルミネーション実施や、国家戦略特区の制度を利用した歩道の利活用による誰もが気軽にくつろげる空間づくりを中心に清掃活動、持続可能な社会の実現に向けての取り組みなど多岐にわたり地域の活性化に大きく貢献している。
	ふるさとまちづくりの会	香月黒川下流の河川敷を拠点に継続して活動し、環境美化に尽力した。また、多くの地域団体と協働して取り組むことで地域の結びつきを深め、八幡西区のまちづくりに貢献している。
	牧山児童館母親クラブ	地域の交通安全を呼びかけるため、長年にわたり、手作のマスコット啓発物を街頭活動等で配布することで、子どもやドライバーへの効果的な啓発ができ、戸畑区の交通安全活動にとっても、交通安全意識を広げる重要な役割を担っている。
令和 4 年	北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館運営協議会	これまで 20 年間の長きにわたり、地域を挙げて木屋瀬における、①生涯学習の促進、②文化遺産や伝統芸能の保存と育成、③地域文化の創造、④記念館の管理運営、⑤市からの受託事業などに取り組むことで、「長崎街道木屋瀬宿」を広く発信するとともに、地域づくりに大きな成果があった。

令和 4 年	永木 三成	「北九州美しい海を守る会」及び「美しい部埼灯台を守る会」の会長として、団体設立後、年12回の海岸清掃の奉仕活動を28年間にわたって継続しており、清掃場所も門司区内の全ての自然海岸のペットボトルやプラスチックなどのゴミ拾い、流木など漂流物の撤去活動を行い、多大な貢献を果たしている。
	久女・多佳子の会	郷土の生んだ女性俳人である「杉田久女」と「橋本多佳子」を偲び顕彰し、平成9年から毎年、久女の命日である1月21日に「久女忌」を開催するなど、その業績を広く世に伝えている。また、久女・多佳子所縁でもある昭和初期の小倉の文学サロンであった「櫓山荘」の名を冠した「子ども俳句大会」を長年にわたって開催するなど、本市の文化活動の向上や育成に寄与貢献するとともに、本市が誇る文学を市内外に広く発信している。
	山岸 三代子	平尾台の素晴らしい自然が荒らされていることに心を痛み、平尾台に咲く小さな野の花々を造花で再現し、平尾台を彩る野の花の美しさと自然の魅力を伝える活動を、約40年間継続している。
	小石ちょうちん山笠保存会	毎年7月（近年は9月）、赤崎小学校と小石小学校の運動場で1年ごとに交代で開催されている。地域と学校が一体となって伝統文化の継承に取り組むほか、地域の絆を深める活動となっており、地域の活性化に多大に貢献している。
	前田祇園山笠保存会	800年を超える伝統が息づく「前田祇園山笠」の保存・継承活動の中で、地域の連帯や青少年の健全育成に努めている。特に20数年前から前田小学校（現花尾小学校）と連携し、山笠の授業の実施やクラブ活動として「太鼓クラブ」を創設するなど青少年の健全育成に大きな役割を果たしている。
	おりお未来21協議会	平成18年より長きにわたり、折尾地区住民と本市のパートナーシップによるまちづくりの提案と実践を通じて、折尾地区の再生・活性化に向けたまちづくりを進める役割を担い、折尾駅周辺のまちづくり活動などに尽力し多大なる功績をあげた。
令和 3 年	北九州地区（市）少年補導員連絡協議会	少年の盛り場となるゲームセンター、パチンコ店等の指導、本市の路上違反広告物撤去事業を受託して迷惑チラシの撤去等の有害環境浄化活動を行っている。
	門司区福祉ボランティア「一期会」	レトロ地区や出光美術館、平和パゴダなどの清掃活動をはじめ、高齢者や障がい者などの福祉施設における軽作業ボランティアなど、多岐にわたった活動を展開している。
令和 2 年	石塚 政章	「関門海峡花火大会」「門司港まちなみづくり協議会」「門司みなと祭」等に携わり、門司区のまちづくりに多大なる貢献を果たしている。

平成 31 年	長崎街道小倉城下町の会	「史跡探検ウォーク」、「小倉のおもしろ歴史文化塾」等の取り組みを通じ、郷土愛の醸成や歴史・文化の薫る街を広く多くの市民へ伝承する活動を行ってきたもの。
	三隅 佳子（故人）	「北九州 E S D 協議会」の設立・運営に尽力し、本市が E S D 推進の先進地として評価されることに大きく貢献したものの。
	夢二まつり実行委員会	竹久夢二ゆかりの地として「夢二まつり」を地域の祭りとして根付かせ、祭りを通じて竹久夢二を顕彰するとともに地域住民に地域の歴史と伝統を継承し、交流を深める機会を提供する活動を行ってきたもの。
平成 30 年	岩松助左衛門翁顕彰会	白洲燈台建設に情熱を傾けた、岩松助左衛門翁の生き様に光を当て、その偉業を顕彰する活動を行ったもの。
	風師山早朝登山会	登山道の保全・整備、山小屋やトイレの建設・管理など、登山者の利便性の向上を図るとともに、その魅力を広く伝える活動を行ったもの。
	片田 一夫	「撥川ルネッサンス計画地域部会」の部会長として、再生事業に協力するとともに、河川清掃やホタルの育成を行うなど、川づくりに積極的に取り組んだもの。
	北九州市健康づくり推進員の会（7 区）	「健康診査の受診勧奨」や地域での健康づくりに係る活動など、本市における健康づくり・介護予防活動の担い手として役割を果たしたものの。
	猿喰新田・汐抜き穴を保存する会	「猿喰新田・汐抜き穴」の清掃活動を行い、地域の貴重な文化遺産を保存し、後世に伝える活動を行ったもの。
	戸ノ上山登山会	登山道の保全・整備、山小屋やトイレの建設・管理など、登山者の利便性の向上を図るとともに、その魅力を広く伝える活動を行ったもの。
平成 29 年	岩田 中熙	津軽三味線の家元・演奏家として、10 年以上に渡り活動しており、文化の伝承や後進の育成に努めるとともに、福祉施設等におけるボランティアでの演奏活動など尽力している。
	高田 芳信	認知症の家族を介護した体験を基に、介護が必要な方やその家族の支援のための支援団体を立ち上げ、電話相談や交流会の開催などの活動を 20 年以上に渡り続けている。
	特定非営利活動法人 日本ガーディアン・エン ジェルズ北九州支部	青少年の非行防止、犯罪防止、環境美化活動を行うほか、ボランティアでの深夜パトロールなど、深夜徘徊に伴う様々な危険から青少年を守り、立ち直りを支援する活動を 10 年以上にわたり行っている。
平成 28 年	下田 昭司	個人で小倉北区内の公園内の巡視、清掃、除草、駐車場の管理を行っており、特に駐車場の車止めの上げ下げを 1 日も欠かすことなく、10 年以上、自主的に実施してきた。

	宮川 喬好	会長を務めるボランティアサークルにおいて、門司区内の各イベントの支援、中学生バレーボール大会の企画などを20年以上行っているほか、別団体の役員として、イベント企画や清掃活動に携わってきた。
平成 27 年	下曽根少年消防クラブ	火災予防の普及啓発、防災に関する知識を児童期から培い、地域の防火・防災意識の高揚を図ることを目的に、30年以上に渡って活動している。
	僧清虚顕彰会	170 以上前に船にかがり火を焚いて海の難所を知らせた僧清虚の偉業を後世に伝えるため、30年以上に渡り、供養祭の開催、清掃活動、句会などの活動を行っている。
	松永 武	バナナの叩き売りの口上を録音した CD の製作やルーツを記した書籍を出版し、その継承に貢献してきたほか、イベントの企画・実施などを長年に渡り行ってきた。
	八坂 和子	ボランティア団体の代表として、門司港レトロ地区の美化活動や高齢者施設での家事援助など20年以上に渡り活動してきたほか、門司に開設された美術館の友の会会長として文化・芸術による観光地の魅力作りに寄与している。
平成 26 年	北九州市民通訳協会	本市で開催されるイベントに来北される外国人のアテンドや通訳を無償で行ってきたほか、日本語での病院受診に不安がある外国人市民のために医療通訳スタッフを派遣する通訳制度の構築に寄与してきた。
平成 25 年	大坪 和子	平成元年から「北九州市景観アドバイザー」の委員として、多くの技術指導を行ってきたほか、「北九州市都市景観賞」などの選考にも携わってきた。
	小倉焼きうどん研究所	平成13年より「ご当地グルメ」をテーマとしたイベントを地域・行政等と協働でスタートさせ、本市で開催された「B-1 グランプリ in 北九州」においては開催誘致の先導的な役割を努めている。
	稲津 義行	20年以上にわたり、小倉の郷土史家として、執筆活動や「史跡探訪ウォーク」などの講師を勤める。
	若松あじさい祭り実行委員会	毎年6月に高塔山において、若松あじさい祭りを開催し、まちの賑わいづくりに貢献したほか、あじさいの植樹などの環境保全にも取り組んできた。
	北九州市子ども会連合会	昭和38年に発足し、約50年にわたり、ジュニア・リーダーの養成や子どもの健全育成に役立つ多岐の活動を行ってきた。
	神尾神楽保存会	折尾の夏の風物詩として長年親しまれ、太宰府天満宮をはじめ、県内各地の神社やイベントにも招聘されるなど、文化の伝承のみならず、市の魅力発信などにも努めている。

平成 25 年	香月・黒川ほたるを守る会	黒川の自然環境の保護を目指して、ホタルの保護活動を行っているほか、毎年、「ほたる祭り」を開催し、香月・黒川の賑わいづくりに寄与している。
	則松金山川コスモス会	金山川花のボランティア公園を拠点として、清掃や植樹などを行っており、毎年、「金山川コスモス祭り」や「金山川チューリップ祭り」を開催し、賑わいづくりに寄与している。
	八幡郷土史会	50年以上にわたり、郷土八幡の文化財や資料の収集・保存・調査を行っているほか、講演会や歴史講座の開催、長崎街道など史跡の説明板の作成への助言など、地域に貢献している。
	八幡西区交通安全母親クラブ「瀬々らぎ会」	八幡西区唯一の交通安全ボランティア団体で、四季の交通安全県民運動への参加や、年1回の中学校等における交通安全啓発物の配布、交通遺児奨学金の寄付など、結成から20年以上にわたり実施している。
	西日本工業倶楽部	昭和27年の設立以来、旧松元家住宅を活用した、様々な文化事業や春秋の特別公開を行い、市民の文化財保護意識の向上に勤めているほか、旧松本家住宅の保存のため、多額の経費を捻出した。
	やまさか暮らし研究会	八幡東区の斜面市街地において、自治会、学校、ボランティア団体等と連携して、「やまさかバンコ（ベンチ）」の設置、レインボー広場でのプランターの花苗植え付けなどに取り組んでいる。